

## 斜里町 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

### 1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

急速に進展するデジタル社会に対応し、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことを目的に、ICT 環境を活用した以下の学びの実現を目指します。

- **個別最適な学びの実現**
  - ・ 児童生徒の学習進度や興味関心に応じた個別指導を ICT を活用して実施。
  - ・ AI ドリルや学習ログを活用し、学習の「つまずきポイント」を特定し、最適な学習方法を提供。
- **協働的な学びの実現**
  - ・ オンライン会議システムや電子黒板を活用した、双方向性のあるグループ学習。
  - ・ SDGs をテーマにしたプロジェクト型学習（PBL）を通じ、多様な価値観を共有し、他者と協働する力を育成。
- **主体的で深い学びの促進**
  - ・ 地域資源を活用した体験型学習を ICT 環境下で実施。
  - ・ 学びの進捗状況を把握しながら、自ら課題を設定し解決する力を養う。

### 2. GIGA 第 1 期の総括

- **成果**
  - ・ **端末とネットワーク環境の整備**
    - 令和 2 年度から全児童生徒に 1 人 1 台端末を配備し、ネットワークや電子黒板の導入を実施。
  - ・ **教育の ICT 化推進**
    - デジタル教材やデジタルドリルを用いた授業が一般化し、基礎学力の定着を支援。
  - ・ **教職員の ICT 活用スキル向上**
    - ICT 支援員の配置により、授業における ICT 活用能力が向上。
- **課題**
  - ・ **通信回線の容量不足**
    - 通信が集中すると通信速度が低下し、学習効率に支障が生じた。

- ・ ICT 設備の活用促進の必要性
  - 一部の教職員や児童生徒において、ICT 機器の活用にまだ習熟を要する場面が見られるため、さらなる支援や研修が求められる。
- ・ 不登校児童生徒への支援の拡充
  - オンライン学習環境の整備が十分ではなく、学びの保障に課題が残った。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

- ICT 環境の整備
  - ・ 令和7年度から端末を更新し、教育現場の ICT 環境を向上。
  - ・ ネットワーク環境のアセスメントを定期的実施し、安定した通信環境を確保。
- 個別最適な学びの推進
  - ・ 学習ログや AI ドリルを活用した個別指導を強化。
  - ・ つまずきの解消や予習・復習の効率化を図るため、デジタル教材を充実。
- 協働的な学びの促進
  - ・ 地域資源や SDGs をテーマにしたオンライン連携学習の実施。
  - ・ 電子黒板を活用し、意見交換や発表の機会を増加。
- 多様な学びの保障
  - ・ 不登校児童生徒へのオンライン授業環境の提供。
  - ・ 1人1台端末を活用した児童生徒の心身ケア体制の構築。
- 教職員の働き方改革
  - ・ 校務のデジタル化による業務負担の軽減。
  - ・ ICT 活用に関する教職員研修を充実させ、活用事例の共有を推進。
- 家庭と地域との連携
  - ・ 端末の持ち帰り学習を促進し、家庭学習での ICT 活用を支援。
  - ・ 地域コーディネーターを活用した学校・地域連携の強化。